



塩見岳、蝙蝠岳(鳥倉ゲートより往復) (無雪期ピークハント／縦走 / 甲斐駒・北岳)

by

gekiyabu 

日程：

2012年08月16日 ～ 2012年08月17日

メンバー：

gekiyabu

天候：

初日：ガス→晴れ→ガス

2日目：晴れ

地図：



WEB SERVICES BY YAHOO! JAPAN

標高グラフ：

コースタイム：

8/16 2:56 鳥倉ゲート→3:33 登山口→4:24 稜線→4:56 水場→5:44 三伏峠小屋→5:56 三伏山→6:38 本谷山 7:07→8:06 塩見新道分岐→8:18 塩見小屋→9:05 塩見岳 10:08→10:27 蝙蝠岳分岐→11:39 蝙蝠岳 12:25→13:46 蝙蝠岳分岐→

8/17 →4:43 蝙蝠岳分岐→5:09 塩見岳 6:09→6:38 塩見小屋→6:46 塩見新道分岐→7:47 本谷山→8:28 三伏山→8:39 三伏峠小屋 9:00→9:25 水場→

9:48 稜線を離れるー10:13 登山口 10:18ー10:51 鳥倉ゲート

コース状況／その他周辺情報：

- ・鳥倉ゲートに登山ポストあり
- ・ゲートから登山口まで林道歩き。バスの便もあるが1日2本
- ・登山口から塩見岳まで立派な登山道が続く
- ・塩見岳直下は岩場の連続。自分の転落よりも落石を発生させないよう注意が必要
- ・塩見岳は三角点は西峰にあるが最高峰は東峰
- ・塩見岳東側の下りはハイマツがはみ出して朝露で濡れた時間帯はイヤらしい
- ・蝙蝠岳の稜線は鞍部付近を除いて砂礫の広い稜線が続く

写真：



鳥倉ゲート



登山口



稜線に乗る



水場



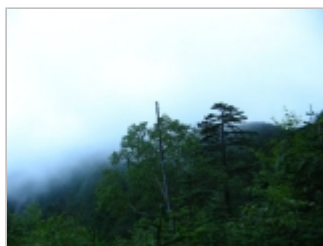
塩見岳はガスの中



塩川ルート合流点。塩川ルートは通行止め



この標識が1～9まである



塩見岳はガスの中



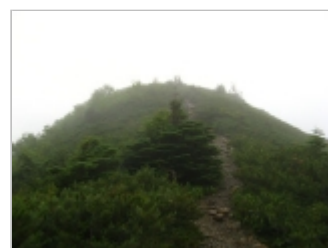
山伏峠小屋



山伏峠小屋テント場



塩見岳方面／荒川岳方面分

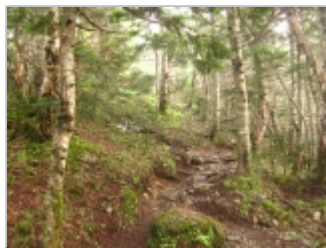
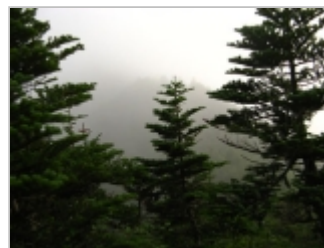
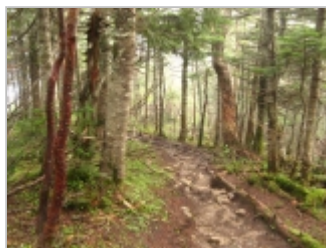


ガスに覆われた三伏山

岐



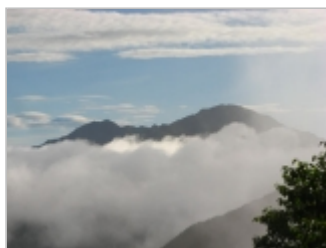
三伏山



本谷山山頂



本谷山から見た仙丈ヶ岳



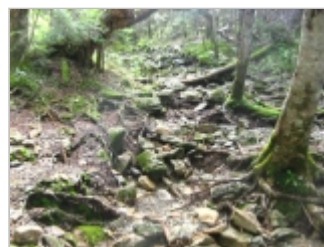
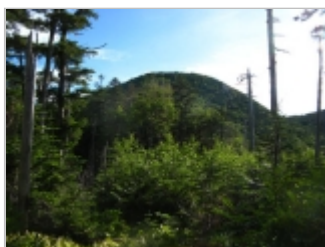
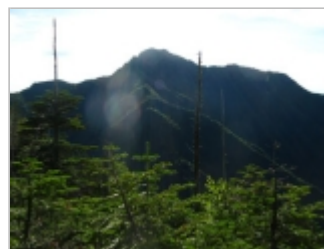
本谷山から見た間ノ岳



本谷山から見た塩見岳



本谷山から見た中ア



水が無い沢を横断、登りにかかる



塩見新道分岐。林道通行止めに伴い通行止め



塩見新道分岐



森林限界



森林限界から見た北方



森林限界から見た中ア



森林限界から見た黒檜山



塩見小屋





これより岩場突入。危険はないが落石を発生させないように注意が必要



目印に従って登る



岩場通過で緩やかに



振り返る



塩見岳西峰。三角点があるが最高峰では無い



塩見岳西峰から見た塩見岳東峰



塩見岳東峰から見た塩見岳西峰



塩見岳東峰。最高点はこの岩



塩見岳東峰から見た富士山



塩見岳西峰から見た展望



塩見岳東峰から見た白根南
嶺と蝙蝠岳

塩見岳東峰から見た展望



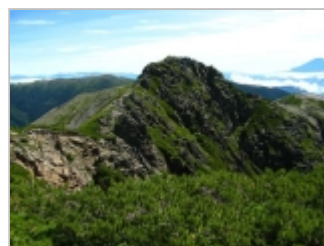
東峰より蝙蝠岳方面に向か
う



北俣岳



塩見岳を振り返る



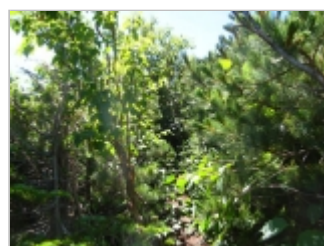
蝙蝠岳分岐



北荒川岳と雪投沢



蝙蝠岳に続く尾根



鞍部付近で低い樹林に突入



鞍部は2重山稜



登り返す



またハイマツ



ハイマツを抜ける



蝙蝠岳山頂



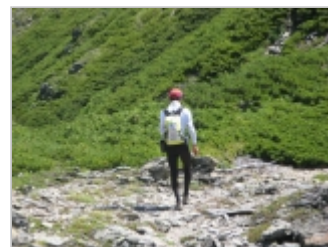
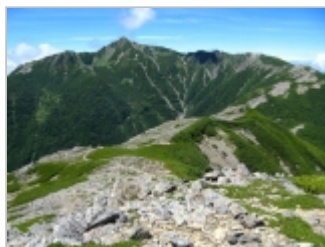
蝙蝠岳からの展望



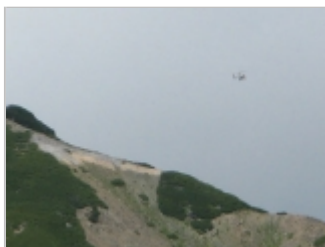
蝙蝠岳東直下のテント場



蝙蝠岳から見た南ア北部

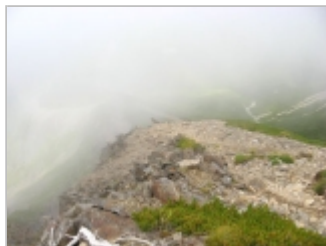


根島に向かうトレイルランナー

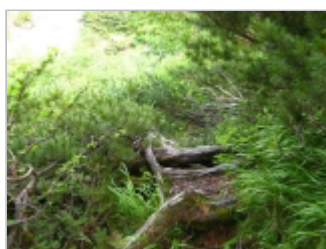
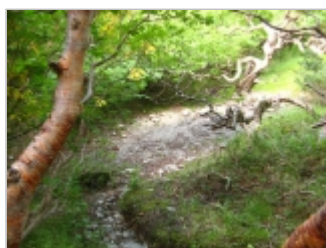
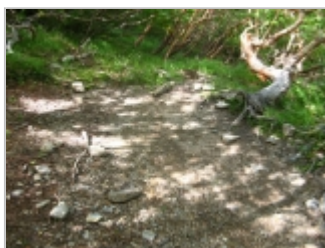
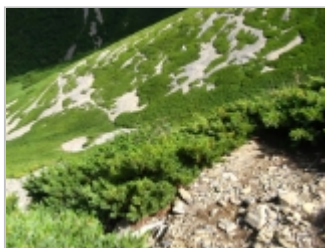


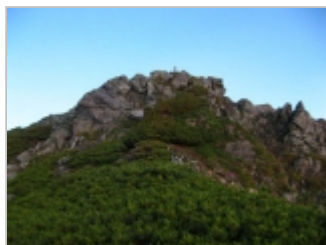
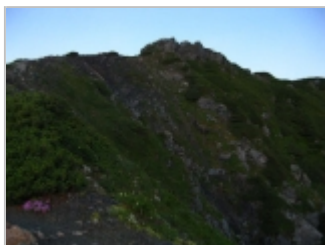
塩見岳山頂付近をヘリが飛んでいた





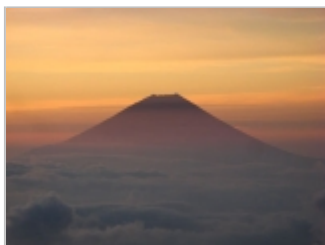
蝙蝠岳分岐に戻る



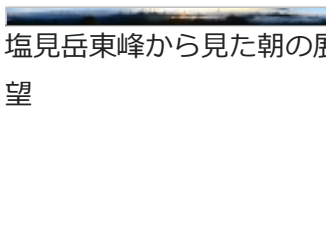


塩見岳東峰に登る

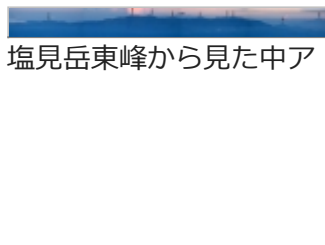
塩見岳東峰の山頂標識。東の低い位置にある



塩見岳東峰から見た富士山



塩見岳東峰から見た朝の展望



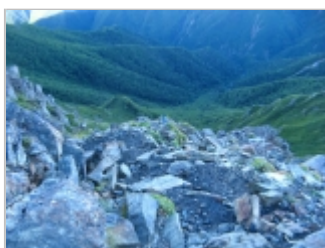
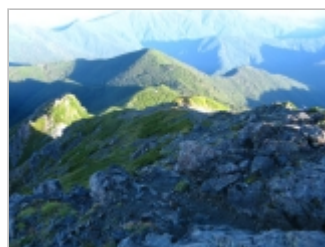
塩見岳東峰から見た中ア



塩見岳東峰から見た北ア



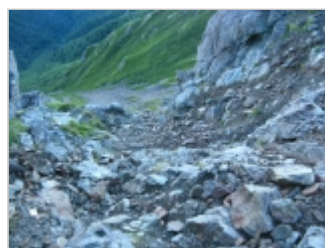
塩見岳西峰



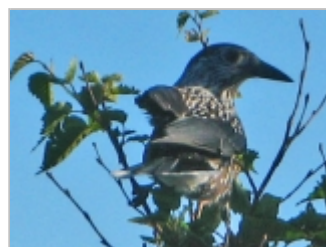
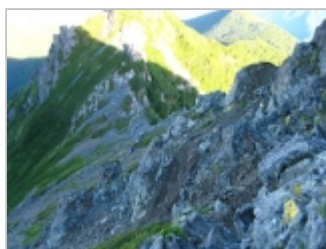
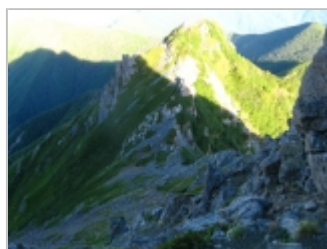
岩場の始まり



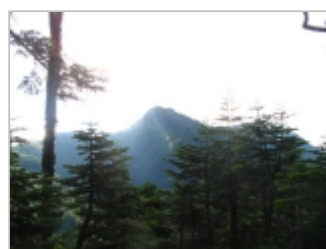
岩場を下る



岩場を下る



ホシガラス



本谷山から見た西～北の展望



本谷山から見た二見山への尾根



本谷山から見た風巻峠

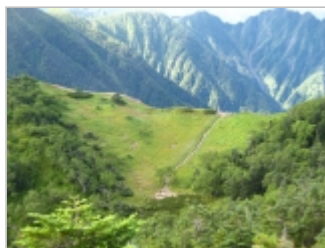




三伏山山頂



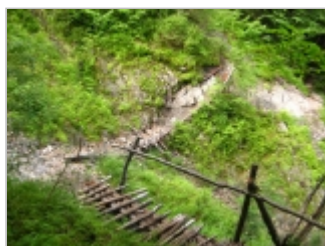
三伏山の展望



三伏峠小屋



三伏峠小屋のテント場





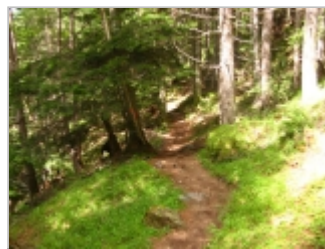
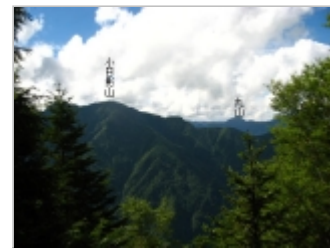
水場



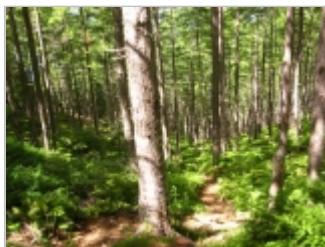
いったん巻道が終わって尾根上に



ここで尾根を外れて南に下る



大ザックの学生パーティー



鹿避け柵



登山口



感想／記録 : (by gekiyabu)

お盆期間中は気圧配置が悪く大気の不安定な状態が続いたが、終盤の16,17日比較的稳定しそうだったので避暑に出かけることにして久しぶりに塩見に向かう。鳥倉ゲートまでスムーズに入れ、夜中の駐車場はまだ数台の空きがあった。お盆期間中は家でゴロゴロして睡眠時間と体力充電は充分。夜間は満天の星空。

翌朝、自然に目が覚めたら2時。まあいいかと朝飯を食ってLEDライトを点灯して出発。出発準備をしている男性や、遠くの林道上にライトが見えるが日帰り組であろう。登山口までの林道歩きは準備運動。星空を見上げながら歩いているとペルセウス座流星群の名残だろうか、いくつか流星を見ることができたし、久しぶりに人工衛星も見えた。登山口から唐松植林帯で本格的な登りが始まる。何度も歩いたルートでライトの光だけでも問題なし。

稜線に乗って少し登ると北側を巻くようになり緩やかな登山道が続く。以前から手造りの「1/10」「2/10」・・・「9/10」の標識があったが、いつのまにか金属製の立派な標識に生まれ変わっていた。6/10と7/10の間に貴重な水場あり。水量は多くはないが枯れていたことがない。この付近で徐々に明るくなってきた。軽装の日帰りと思われる登山者を何故か幕営装備の私が追い越した。

閉鎖された塩川分岐を通過してジグザグに登ると三伏峠小屋。既に充分に明るく、これから塩見岳を目指して出発する登山者の姿も多いが、ガスががががしまっている。あの星空はどこへ行ってしまったのか。三伏山山頂はガスで何も見えない。ガスの中の本谷山で初めての休憩を取っていると徐々にガスが切れ出し、最初に中アが、そして槍穂も僅かに見えるようになり、やがて間ノ岳、そして塩見も姿を現した。天候は回復傾向らしい。助かった。

権右衛門山南の樹林帯を横断して、枯れた谷を越えると再び登りに。苦しい登りであるがこれを過ぎれば森林限界を超えて展望が開ける。森林限界直前に塩見新道分岐があるが、ここも塩川方面登山道同様に通行止め。これは三峰川沿いの林道が杉島にゲートができて一般車が入れなくなり、塩見新道も実質上使えなくなったためだ。もったいない。

標高約2700mで森林限界突破、ハイマツに変わって展望が開ける。北アが見えないのは残念だが仙丈ヶ岳や白根三山南方の荒川岳など近場の山は全て見えていた。登山者が出払った塩見小屋を過ぎて大きなピークを通過すると難所の岩場にかかる。危険度が高いわけではなく鎖場があるわけではないが落石を起こしやすい場所があり、下に登山者がいる場合は慎重に。また、岩で足跡が残らずルートが分かりにくいので目印を見落とさないよう。

岩場を抜けるとなだらかな稜線に乗り、僅かで三角点のある塩見岳西峰到着。半端な時間無尾で先客は1名のみ。北アは見えないが南アは北から南までまだ雲に隠れず見えている。やはり目が行くのは黒檜山や二兎山などのマイナー峰。この前歩いた白根南嶺も。今日も歩いている人がいるかな。僅かに移動して最高峰の東峰。ここはてっぺんは岩だが穴をあけて山頂標識を設置するのが難しかったようで、一段低くなった地面に山頂標識があった。ここから見える蝙蝠岳は気持ちよさそうななだらかな稜線で、時間もあることだし今日のうちに山頂を踏むことに。東峰では熊の平からピストンというペアと出合った。芦安あたりにマイカーを置いてあるのだろう。こっちも同じように鳥倉林道だけだ。

塩見岳東峰から東に下ると道のグレードが落ちる。ハイマツの中の登山道両側からハイマツがはみ出し、雨の時や朝露に濡れた時間帯はゴアのズボンが必要かも。道が悪いわけではないのだが。

蝙蝠岳分岐にザックを置いてアタックザックで蝙蝠岳を目指す。登山道は目の前のピークを巻いているが、せっかくなので山頂を踏んでおく。てっぺんにはケルンがあった。広い2920m峰を越えて広く傾斜が緩やかな稜線歩き。お盆なのに人影皆無、静かだ。鞍部付近のみ樹林帯に潜るが、立ったハイマツを抜けて再び石と砂礫の森林限界に。そして登り切って蝙蝠岳山頂。昔は何も標識が無かったが今は東海パルプの標識あり。南ア南部にはどこでもあるなあ。

ザックのデポ地点に戻り・・・・・・以下省略